

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

マナック株式会社 福山工場

(2) 事業所の所在地

広島県福山市箕沖町92番地

(3) 業種

1699 他に分類されていない化学工業製品製造業

2 計画の期間

本計画の期間は、令和4年度（2022年度）を基準年度とし、令和5年度（2023年度）から令和7年度（2025年度）までの3年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量（t-CO₂），削減率（％）

温室効果ガスの種類	基準年度 排出量(a)	目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：実排出量(d)，下段：削減量の対基準年度比(e))					
	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()
エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 実排出量総計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス みなし排出量								
実績に対する自 己評価								

※ 削減率(c) = ((a)-(b))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

年度生産量(エネルギー負荷補正、千t)

温室効果ガスの種類	基準年度 原単位 (a)	目標年度 上段：原単位 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績(d)，下段：削減量の対基準年度比(e))					
	令和4年度 (2022年度)	令和7年度 (2025年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()
エネルギー 起源CO ₂	721.8	699.7	849.1					
		3.1	-17.6			100.0	100.0	
非エネルギー 起源CO ₂	1.455	1.426	1.528					
		2.0	-5.0			100.0	100.0	
メタン	0.532	0.555	0.529					
		-4.3	0.6			100.0	100.0	
一酸化二窒素	0.278	0.317	0.277					
		-14.0	0.5			100.0	100.0	
その他 温室効果ガス	0	0.0	0.0			0.0	0.0	
温室効果ガス 排出量総計	724.0	702.0	851.4					
		3.0	-17.6			100.0	100.0	
エネルギー消費原単位 (原油換算kl/千t)	352.0	341.4	409.9					
		3.0	-16.5			100.0	100.0	
実績に対する自 己評価	年間生産数量の低下でエネルギー原単位は増加 非エネルギー起源CO ₂ の増加は、一部の製品生産増に伴うソーダ灰、炭酸カリウムの使用増							

※ 削減率(c) = ((a)-(b))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項 目	削減量等	具体的な取組
1	燃料起因CO ₂ 発生削減	・燃料の使用によるCO ₂ 発生 原単位を3%以上改善	・蒸気配管の整備 ・トラップの整備、改善 ・保温断熱強化 ・高効率機器へ更新(高効率冷凍機に更新)
2	電気使用によるCO ₂ 発生削減	・電気の使用によるCO ₂ 発生 原単位を3%以上改善	・高効率機器への更新 ・省エネ型電気機器への更新 ・インバーター制御への変更 ・圧力空気ロスの防止 ・冷暖房温度の適正管理 ・不要電源OFFの徹底 ・遮熱等による冷熱負荷の軽減
3			
4			

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種 類	合 計 量
1		
2		
3		

○ その他の取組

	項 目	削減量等	具体的な取組
1			
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記載してください。